

## 投 稿 規 定

### 1. 投稿資格

- 1) 本学教員であること
- 2) 共同研究の場合は、本学教員が筆頭著者（first author）であること。ただし、本学の非常勤講師との共同研究では、この限りではない。
- 3) その他、紀要委員会が認めた者。

### 2. 論文の内容

- 1) 看護学及び、看護学教育の発展・向上に貢献できるものであり、未発表のものに限る。
- 2) その他、紀要委員会が認めたもの。

### 3. 論文の採否

査読者の意見をもとに、紀要委員会が最終的に決定する。

### 4. 投稿締切

毎月末とする。投稿にあたっては、原稿原本に投稿書式1、2、3を添付して提出する。図書館で投稿を受領した際には「預かり証」を発行し、直近の紀要委員会で正式に受け付けた後に受領書（書式3）を発行する。

### 5. 論文の種類

- 1) 総説: 特定のテーマについて総合的に知見を集め、学問的状況を概説し考察したもの
- 2) 研究（原著）: 独創的で新しい知見が示された研究
- 3) 教育実践研究: 教育実践を素材にし、新しい知見や教育の改善、発展に寄与する研究
- 4) 報告: 調査結果に意義があり、すぐに知らせる必要のあるもの。あるいは、現状を分析し、課題が明確になり、次の研究につながるもの
- 5) 資料: 資料として価値があり、考察を加えていない生データ
- 6) その他: 提案、提言、論説、海外事情、関連学術集会など

### 6. 著者

著者として記載する者は、その内容と公表について著者としての義務と権利を有するので、“実質的な著者”でなければならない、名前だけの著者は避ける。著者は“実質的な著者”に限定し、それ以外の者は謝辞に記載する。

“実質的な著者”とは、①研究計画やデータの分析と解釈に関与している、②原稿作成と修正に実質的に参加している、という条件を満たしている者である。

著者が複数の場合、その記載順序はすべての著者の合意で決め、筆頭著者は複数の著者の中で中心となる者で、第二・第三著者になるに従って論文における役割が軽くなるように列挙する。

### 7. 投稿要領

- 1) 原稿は邦文および英文とし、A4縦置き横書き、ワードプロセッサを使用する。邦文（総説・研究（原著））の場合は、図・表を含め、18000字（1頁は、横40字×縦40行×1段＝1600字）以内、邦文（教育実践研究・報告・資料・その他）の場合は図・表を含め、14000字以内とする。英文の場合は、A4縦置き1段組55行、1頁900語程度とし、ダブルスペース（Double Spacing）で作成する。なお、論文タイトル、著者名および空白文字は文字数には含めないものとする。
- 2) 研究（原著）の場合は、800字以内の論文の要旨と、500語前後の英文抄録を付ける。それぞれ下にキーワード3～5個を付ける。
- 3) 原稿は、新かなづかいとし、原則として常用漢字を用いる。句読点を明確にする。
- 4) 図・表は、いずれも1枚の用紙に1枚の図または表を書き、割付用紙（レイアウト用紙）を使って字数換算した文字数を付記する。

また、本文原稿の右側欄外に図・表の挿入箇所を明記する。字数の換算は各投稿者に任せるが、字数換算用の透明な割付用紙（レイアウト用紙）を紀要委員会で用意するので、必要な場合は貸与する。

- 5) 図・表は原本のまま印刷できるものを提出する。表形式は下例に従い、縦罫線の使用は最小限にとどめ、左右両端の縦罫線は引かないものとする。

表 A市とB市の距離別居住人口と対前年増加率

中心からの距離（キロ）	A市		B市	
	人口（千人）	対前年増加率（％）	人口（万人）	対前年増加率（％）
0～9.9	320	-0.5	410	-0.2
10～19.9	850	0.9	330	-0.7
20～29.9	620	0.4	255	-0.3

- 6) 文献は、本文の引用箇所に 1)、1,2)、1)～5) など示し、原稿の終わりに著者名を引用順に並べる。

雑誌は、著者名：論文題名、雑誌名、巻（号）；頁、発行年。

単行本は、著者名：表題名、書名（監・編者名）、版；頁、発行所、発刊年。

訳本は、原著者名：原書名（版）、発行年、監・訳者名、書名；頁、発行所、発行年。

電子文献は、著者名（サイト設置者名）：タイトル、入手日（アクセス日）、URL

英文誌名を省略する場合は、Index Medicus に従って記載する。

[例]

①雑誌

平山朝子：日本の看護系大学院 千葉大学大学院看護学研究科の教育・研究内容 地域看護学教育分野, Quality of Nursing, 6(2)；133-135, 2000.

②単行本

平山朝子：保健指導の技術的特質, 公衆衛生看護学大系 1 公衆衛生看護学総論 1（平山朝子, 宮地文子編）, 3 版；169-174, 日本看護協会, 2000.

③訳本

Pierre Woog, Ph.D.: The Chronic Illness Trajectory Framework — The Corbin and Strauss Nursing Model, 1992, 黒江ゆり子, 市橋恵子, 寶田穂訳, 慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル, 初版；4-5, 医学書院, 1995.

④電子文献

岐阜県立看護大学紀要委員会：紀要投稿マニュアル, 2004-01-15, <http://www.gifu-cn.ac.jp/journal/manual.html>

- 7) 単位は SI 単位とし、特殊な単位を用いるときは、簡単な説明を加える。

- 8) 略語を用いるときは、論文の初出のところで正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。

- 9) 氏名の英語表記は「名→姓」の順とし、姓、名ともに頭文字のみ大文字にし、他は小文字にする。

- 10) 英文タイトルの表記は、先頭を大文字とし、冠詞、接続詞、前置詞以外は単語の先頭文字を大文字にする。ハイフンで単語と単語を結んだ場合、ハイフンの前後に空白は入れず、前後の単語ともに先頭を大文字にする。

## 8. 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権のうち、複製・頒布・公衆送信にかかる権利は岐阜県立看護大学に所属するものとする。但し、著者（共著の場合は著者全員の総意のもと）によるこれらの権利行使を妨げるのではなく、大学の許諾も不要とする。

## 9. 投稿原稿の提出先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1 岐阜県立看護大学図書館内 岐阜県立看護大学紀要委員会 宛

10. 査読

投稿原稿は全て査読する。査読者は、紀要委員会が任命する。

11. 著者校正

著者校正は初校と再校の2回とする。原則として校正時に新たな加筆は認めない。

12. 掲載料

掲載料は無料とする。別刷り（30部）は、無料とする。

13. 掲載決定後の原稿提出

掲載決定後の原稿提出は、フロッピーディスクに保存したものとプリントアウトしたもの（2部）を提出する。フロッピーディスクには、Windowsで作成したファイルを保存する。保存するファイルは本原稿、図、表の他に投稿書式1とする。本原稿は紀要委員会が指定するWordファイルに書式を変更せずにそのまま入力して保存するものとする。プリントアウトした原稿には、投稿書式1を表紙として添付する。

14. 掲載後の論文の訂正

掲載された論文について、著者が訂正の必要を認めた場合、著者は紀要委員会に文書で申し出ることができる。その際に訂正記事掲載のための原稿を紀要委員会に提出すること。訂正原稿は紀要委員会の議を経て、「訂正」として直近刊行の紀要に掲載する。

（平成20年1月改正）